

# パンダフルライフ

思わずギュッとしたくなる。ありそうでなかったパンダのドキュメンタリー映画



毎日に  
疲れたら、

有休とって

パンダしよす。

ナレーション：菅野美穂

監督：毛利匡 主題歌：「グリーン」オトナモード(ビクターレコーズ) キャラクターデザイン：くらもちふさこ

製作：松本輝起 プロデューサー：吉田繁暁 藤井宏美 / 橋本佳子 撮影：金沢裕司 録音：高橋一三 音楽：鈴木さえ子 with TOMISIRO

助監督：木村直人 共同プロデューサー：張雲輝 ラインプロデューサー：石川朋子 監修・ステール：張志和

製作：「パンダフルライフ」フィルムパートナーズ(松竹、木下工務店、衛星劇場、ドキュメンタリージャパン)

撮影協力：中国成都大熊貓繁育研究基地 成都市林業和園林管理局 アドベンチャーワールド

協力：中国成都市対外文化交流協会 和歌山県(社)和歌山県観光連盟 後援：WWFジャパン

共同制作：龍影 制作：ドキュメンタリージャパン 企画・配給：松竹 ©2008「パンダフルライフ」フィルムパートナーズ

[www.pandaful.jp](http://www.pandaful.jp)

くらもちふさこ ©1986 Panda symbol WWF® WWF Registered Trademark

not for sale

ありそうでなかった  
パンダの  
ドキュメンタリー映画、  
ついに日本初登場!

白黒のツートンカラーに、もこもこしたぬいぐるみのような体。  
むしゃむしゃ竹を食べて、ごろごろ、ぐうぐう寝てしまう。  
まるでストレスも苦労もなさそう。あんな暮らしがしてみたい...。  
動物界のアイドル、癒し系No.1、それがジャイアントパンダ。  
でも、実はパンダって、厳しい氷河期を乗り越えて、  
800万年という長い歴史を生き延びてきた奇跡の生命なのです。  
「パンダフルライフ」は、そんなパンダたちの1年をつぶさに見つめ、  
子育てや子供たちの成長など、これまであまり知られていなかった  
パンダの暮らしぶりを余すところなく描く  
感動のドキュメンタリーです。

舞台となるのは、中国の四川省と日本の和歌山県。

中国・四川省成都市にある成都大熊猫繁育研究基地は、絶滅の危機に瀕したパンダを救うための中国最大規模の研究施設。ここでは、海外クルーとしては初めて、産室での密着取材を許可され、パンダの子育ての貴重な様子を撮影することに成功しました。

もう一つの舞台、和歌山県白浜にあるアドベンチャーワールドには、世界で初めて、双子のパンダを自力で育てたお母さんパンダ・メイメイがいます。昨年、4歳になった双子のリュウヒン、シュウヒンは、母の祖国・中国に旅立つことになりました。映画では、頼もしいお母さんや慣れ親しんだ飼育員と離れ、見知らぬ土地で暮らすことになる2頭の兄弟パンダの別れと成長が、ドラマチックに描かれていきます。

物語をさらに盛り上げてくれるのが、今や年齢、男女を問わず幅広い層から共感を得ている菅野美穂さんのナレーションです。初めて、映画のナレーションに挑戦し、時にはパンダの気持ちになって、時には観客の目線から、パンダの魅力を伝えてくれます。

そして、「天然コケッコー」や「いつもポケットにショパン」などで知られ、自らも大のパンダファンという人気漫画家・くらもちふさこさんの書き下ろしのイラストが映画のところどころに登場し、ちょっととほけたパンダらしさをさらに盛りたてているのも魅力の一つです。

思わずギョツとしたくなる、そんなパンダがいっぱいの  
「パンダフル」なドキュメンタリー映画が、ついに登場です。

監督：毛利匡 制作：ドキュメンタリージャパン 製作：「パンダフルライフ」フィルムパートナーズ 企画・配給：松竹

[www.pandafull.jp](http://www.pandafull.jp)



パンダフルライフ

映画「パンダフルライフ」  
上映・録音は30分で  
映画館の予約は  
[www.pandafull.jp](http://www.pandafull.jp)  
0120-550098



8月30日(土)全国ロードショー